



文化の家 靱山事務局長

靱山 来年度の事業になるので、現在詰め段階です。期待して下さい。

◆ 文化に對話の機会を増やして ◆

水野 事業を進めるためには、やはり對話が大切ですね。皆が気持ち良く活動出来るようにしたいです。

靱山 そうですね。事業計画を含め、絶えず對話を通じて、コミュニケーションを取り合っていきたいと思います。

水野 フレンズスタッフと事務局長が語る機会などを設けてはいかがでしょうか。

靱山 いいですね。皆さんといろいろな語りで事業に結びつくアイデアが出るかも知れませんね。

水野 フレンズではできないことを、文化の家で取り組んでいただければうれしく思います。それから、広報面にもっと力を入れていただきたいと感じますが…。

靱山 文化の家の発信力が弱いのではという指摘もあります。そうした面の改善策の一環として現在ホームページのリニューアルに取り組んでいます。皆さんの満足度を上げるものを作っていきます。またフレンズ会員としての、お得感を感じてもらい一般客では得られない「特典」を提供でき

ないかと考えています。

水野 ホームページについてはデザイン性や更新頻度を高め、演目の紹介だけでなく文化の家の良さをもっと発信してもいいのではと考えます。昨年、八神純子さんを招いたフレンズのつどいに、東京から来館されたお客様が文化の家のホールを見て「大都市に負けないものだ」とたいへんに感心されていました。長久手市の魅力をアピールする大切な施設だと思います。

また文化の家周辺の景観優先という考えもあると思いますが、もう少しここに文化の家があるという表示をしてもいいかと思えます。

靱山 文化の家はもともと周りの住宅地に溶け込むように建てられ看板を設けないデザインコンセプトで運営してきましたが、そういった意見も寄せられていますので設置については柔軟に考えていきたいと思えます。

水野 文化の家は、以前は夜間にライトアップされていました。照明で浮かび上がる景観も文化の家の大切な要件だと思いますがどうですか。

靱山 住環境との調和とか、コストの問題も



フレンズ 水野会長

あつて簡単ではないのが現状です。

水野 文化の家のホームページの充実も大切ですが、それを見ない人への対応で、ワークショップ、ちらしや口コミの力を利用するのも効果的だと思います。人と人との関わり合いも深まりますね。

靱山 言われたような課題を含めて、これからの皆さんと對話の機会を設けていきます。文化の家が持つポテンシャルを最大限に活かすため是非ご協力ください。

水野 森のホールは特別な機能を持っているので、これを活かす企画をこれからお願いしたいですね。

それからもうひとつおたずねしたいのは、文化の家の改修計画はどのようになっていますか。

靱山 開館して15年たち、いろいろな機器の手入れが必要となってきた。大規模な改修が必要となってきました。今年度はまず建物、機器類の調査をしました。空調、舞台など安全面を重視して進めていきたいと思っています。また、かねてから指摘されている森のホールの階段の安全対策も考えていきたいと思えます。

水野 防災の大切さがいわれるようになって、フレンズも文化の家の避難訓練に参加しています。非常時のマニュアルの整備などは進んでいますか。

靱山 有事の際の文化の家全体の防災計画、組織図はありますが、ローテーション勤務で日々変わる防災計画マニュアルはありませんが、特に夜間は職員が手薄になりますので、防災計画を詰めなければなりません。安全の確保がお客様への安心につながります。

がりますから早急に考えたいと思います。

◆ 新しい企画にもチャレンジ ◆

水野 話は変わりますが、従来にない新しい企画がありますか。

靱山 毎年2月に行っていた「劇王」にかわる演劇祭『どしのぎ祭』は装いを新たにしました。劇作家大喜利とか文士劇、即興劇などお楽しみいただけると思っています。芥川賞作家、岸田賞作家などにもゲスト参加してもらいます。

水野 地元にある愛知県芸大とのつながりはどうですか。

靱山 オペラコンクールは休止になりましたが、それ以外は例年どおり行います。室内楽コンサートやオペラ、企画展など以前と変わりに連携して行います。市内に芸術大学があり、発信することで市民が芸術に触れる機会が増えました。

水野 せっかくだからフレンズの宣伝をさせていただと、今年夏の「フレンズのつどい」はアメリカのアポロシアターで二度優勝している『ハンドサイン』の公演が決まっています。楽しみになさってください。同時に文化の家のご協力も、ぜひお願いします。

靱山 ぜひ「フレンズのつどい」を成功させてください。そのためにできる限りの協力をさせていただきます。今後フレンズさんと一緒に事業をやるのもおもしろいかもかもしれませんね。

水野 今日はお忙しいところを、ほんとうに有難うございました。

靱山 有難うございました。